

家計収支とその構造その2

総理府統計局調査部
消費統計課課長補佐

酒 井 忠 敏

消費水準とエンゲル係数

第4表でみると消費支出は各市とも年々上昇しているが、昭和38年に比し最も大きく上昇しているのは福島市の約2.5倍、最も低率を示しているのは浦和市で約2倍である。

この消費支出は住居費、光熱費のように世帯人員の大きさにあまり影響を受けない支出もあるが、食糧費など比較的な人数の大きさに敏感とみられる支出もある。

そこで、今、仮りに食糧費、被服費、雑費を世帯人員1人当たりとし、住居費、光熱費を世帯平均額そのままとし合計すると第5表のようになる。

これをさらに地域差を除去して比較するために地域差指数で除去してみると、水戸市の消費支出が最も多く、

↑になっている。また水戸市では消費支出に特徴があり、食べる費用が少なく着飾る被服費への支出が多くなっている。

消費支出に占める食糧費の割合である「エンゲル係数」は各市とも年々減少しているが、46年では千葉県の32.7%が最も高く、水戸市の27.9%が最も小さくなっている。第4表でみる限り、エンゲルの法則によれば水戸市の生活水準はこの地方で最高位で、千葉市は最低位といえそうである。時系列的にみても水戸市は38年に千葉市の46年の係数と同じ32.7%を示している。水戸市の食糧費が少ないのは第5表でもみられるが、それは水戸における昔からの傾向のようであり、エンゲル係数が20%台になったのも44年で最も早くなっている。

第4表 消費水準とエンゲル係数

(単位 円, %)

年次	福島市		水戸市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数	消費支出	エンゲル係数
38	38,146	36.0	44,260	32.7	39,743	35.6	36,568	36.8	49,609	34.0	46,505	35.5
39	41,341	35.3	48,315	32.1	48,043	32.6	42,360	35.7	53,724	33.7	54,610	32.8
40	46,587	35.6	53,892	31.8	49,196	35.4	48,164	33.7	53,776	35.3	59,092	33.7
41	53,419	34.1	57,745	31.7	53,575	33.7	50,781	34.0	62,619	33.0	64,244	32.7
42	60,280	31.7	62,943	31.2	59,059	32.4	57,963	32.7	70,980	32.9	65,536	33.7
43	66,661	31.6	68,285	31.5	64,364	31.7	67,772	31.6	73,103	32.6	72,182	32.6
44	67,233	32.4	73,957	29.7	73,873	30.3	73,796	30.8	79,227	32.4	79,809	31.5
45	82,746	30.4	86,608	28.9	81,433	29.0	83,781	29.8	86,757	32.3	88,058	33.0
46	95,367	29.7	98,096	27.9	96,482	28.6	86,920	30.2	100,292	30.3	99,290	32.7

第5表 食料費、被服費、雑費の世帯員1人当たり修正消費支出

46年月平均

費目	福島市		水戸市		宇都宮市		前橋市		浦和市		千葉市	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
食料費	28,334	27,343	27,593	26,285	30,381	32,422						
住居費	10,220	10,222	9,235	9,557	11,627	11,207						
光熱費	3,573	3,384	3,179	2,940	3,546	3,377						
被服費	10,559	11,507	9,398	9,081	9,526	10,190						
雑費	42,681	45,640	47,079	39,057	45,212	42,094						
合計	95,367	98,096	96,482	86,920	100,292	99,290						

その他の費目別支出

消費支出に占める住居費の割合をみると、浦和市が最も大きく、宇都宮が最も小さくなっている。水戸市も宇都宮について小さくなっている。

内訳をみると、浦和、千葉における家賃地代、福島、水戸両市における家具什器の大きい点が注目され、その地域性がでている。

光熱費は各市とも消費支出の3.3%から3.7%となっていて大差はない。

被服費について消費支出に占める割合をみると、水戸市が11.7%と最も高率で、最低は浦和市の9.5%となっている。水戸は和服、洋服への支出が他市に比べ多く、

また、くつ下、生地、毛糸などの他の衣料への支出も目立って多い。

雑費は食糧費に比べて、随意的、文化的性格をもつ支出項目であるが、第8表でみると宇都宮市が消費支出中最も高率を示し、ついで水戸市の順となっている。

この中で水戸市で交際費、仕送り金、教養娯楽が多いのが目立ち、浦和市、千葉市で、交通通信、理容衛生が多くなっているのと対照的である。

第6表 住居費の費目別支出額
46年月平均 (単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(10.7)	(10.4)	(9.9)	(11.0)	(11.6)	(11.3)
住居費	10,220	10,222	9,235	9,557	11,627	11,207
家賃地代	1,750	1,486	2,003	1,533	3,161	2,640
設備修繕	2,070	2,457	2,490	1,923	2,845	2,441
水道料	348	406	266	483	606	582
家具什器	6,052	5,873	4,476	5,619	5,014	5,544

() 内は消費支出に対する割合

第7表 46年月平均 被服費の費目別支出額
(単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(11.1)	(11.7)	(9.7)	(10.4)	(9.5)	(10.3)
被服費	10,559	11,507	9,398	9,081	9,526	10,190
和服	703	980	729	494	256	698
洋服	3,118	3,134	2,550	2,415	2,802	3,076
シャツ下着	1,741	1,703	1,764	1,796	1,604	1,710
他の衣料	2,373	3,045	1,927	1,986	2,173	2,017
身の回り品	2,624	2,645	2,427	2,390	2,691	2,689

第9表
46年月平均

実収支以外の費目別収支

(単位 円)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
実収入以外	23,242	29,884	27,649	28,941	30,963	26,250
貯金引出	15,037	25,153	19,757	20,474	25,638	21,735
保険取金	106	0	332	1,065	717	351
借入金	982	432	569	1,436	1,624	349
月賦掛買	6,588	3,748	6,839	3,891	2,876	3,150
有価証券売却	260	337	0	1,933	0	286
実支出以外	49,302	57,179	50,284	57,788	57,989	48,786
貯金	31,588	38,746	30,133	35,464	40,912	32,041
保険掛金	4,952	5,237	5,213	4,696	5,687	5,151
借金返済	4,253	2,751	2,835	3,226	4,702	3,181
月賦掛買払	7,020	5,365	8,122	6,665	4,210	4,517
財産購入	391	3,069	3,438	6,465	1,228	2,743

第8表 雑費の費目別支出額
46年月平均 (単位 円, %)

費目	福島市	水戸市	宇都宮市	前橋市	浦和市	千葉市
	(44.8)	(46.5)	(48.8)	(44.9)	(45.1)	(42.4)
雑費	42,681	45,640	47,079	39,057	45,212	42,094
保健医療	2,160	2,284	2,423	1,827	2,543	2,372
理容衛生	2,395	2,277	2,247	2,365	2,562	2,642
交通通信	2,850	3,087	1,990	1,918	3,990	3,463
自動車関係	2,934	2,419	5,422	3,952	1,461	1,281
教育	2,703	2,713	2,074	1,807	2,968	2,476
教養娯楽	7,084	8,072	7,104	7,035	8,487	7,317
仕送り金	1,773	2,969	2,318	1,917	639	1,163
負担費	936	445	704	683	576	553
交際費	7,414	9,496	7,837	7,977	8,031	7,745

実収支以外の収支

実収支以外の収支での特徴は、資産増減とか負債増減を伴うような収支ということで貯金、保険、借金、掛買等の出し入れからなっている。

したがって、その収支は、実収支とは異なり、収入よりも支出の大きい方がそれだけ家計に余力があるということで、家計の健全さを示すものである。

水戸市は、浦和市、前橋市と並んで57千円台の支出を示し健全なようである。各市とも貯金が最も多い。またその他の項目についての比較では、保険掛金は浦和市、借金返済は浦和市、福島市、月賦支払いは宇都宮市とそれぞれ多くなっている。

以上、水戸を中心とした地域比較をこころみだが分析も浅く、上すべりに終わってしまったことをおわびしてこの稿を終ります。